

<株式会社エフエム東京 第371回放送番組審議会>

1. 開催年月日:平成22年9月7日(火)
2. 開催場所 :エフエム東京 本社10階 大会議室
3. 委員の出席:委員総数7名(社外7名 社内0名)

◇出席委員(6名)

青池 慎一 委員長	渡辺 貞夫 委員
香山 リカ 委員	内館 牧子 委員
秋元 康 委員	西田 善太 委員

◇欠席委員(1名)

横森 美奈子 副委員長

4. 議題:

【番組名】特別番組「夏は来ぬ」

【放送日時】2010年8月30日(月)25:00～26:00放送分

【番組概要】

65年前、ヒロシマとナガサキに投下された原子爆弾。そして敗戦。年を経るごとに語り継ぐことが希薄になりつつあり、そして、世界が新たな核の脅威に直面している現在だからこそ、被爆者の生の声をもう一度伝えておくべきだと考え、この特別番組を編成いたしました。

長崎、広島、東京の路面電車を貸しきり、広島電鉄チンチン電車の中で被爆した女学生たちの姿を描いた芝居を公演する劇団があります。また、長崎では爆心地近くで被爆しながら戦後を生き抜いた83歳の女性は語り継ぐことを自らの使命として、「語り部」を続けています。そして、65年前の「原爆の残り火」が、今もなお福岡県の星野村で守られて灯し続けられています。この「原爆の火」を使って、キャンドルでピースマークを作るイベントを行うアーティストがいます。特別番組「夏は来ぬ」は、人類史上はじめての原子爆弾が広島、長崎に投下された65年前のことを、いま語り継いでいるさまざまな人たちに取材し、原爆投下後に何が起きたのかを浮き彫りにしている番組です。

<試聴時間:約25分>

【委員の意見および社側説明】

(「○」委員意見／「■」社側説明)

- とても良い番組だった。今の若い世代がこの番組をどう聴くのか気になった。人類が行ってきた原爆実験を地図で表現したアートをみて、まるで人類の自傷行為であるかのような強い衝撃を受けた。この出来事を様々なカタチで若い世代に伝えていくことは大切なことである。番組中、日本語の使い方がおかしい箇所があり、気になったが、それ以外は、聴かれていれば、いい取り組みだと思う。
- 原爆の記憶を語り継ぐ試みはどのメディアでも試行錯誤して取り組んでいる。今回のようにいろいろな関係者の証言を集めた番組や、人気のある女優が取材・経験したことを伝える番組など、色々な伝え方がある。他人の経験を、感情を持って想像することは難しいこと。特に、戦争を知らない今の若い世代に「実感」させることは困難なことだと思う。どういう伝え方だと、他人の経験が自分の経験になるか、試行錯誤しながら、若い世代に伝えてほしい。
- 原爆の特集はこの時期になると毎年どこでもやっていて、変な意味での風物詩になってしまっている。年間ずっとやっているところはない。語り継ぐべき大切なことなので、レギュラーの枠を作って、年間ずっとこの問題を考えてもいいと思う。この時期に放送するのはどこでもやっているし、できること。原爆の記憶はもう次の世代が語り継ぐステージにきていると思う。毎年この時期に当事者が語るスタイルは変わらざるを得ない状況になってくる。次の世代が語り継ぐ新しいスタイルを模索するためにも、夏だけではなく、一年を通じて考える取り組みなどを検討してもいいと思う。いい番組だけに、これだけにしてしまうのはもったいない。
- ひとつひとつの取材素材はとてもいいのに、それらをすべて詰め込んだために総花的になってしまっていて残念だった。深く掘り下げられるトピックがたくさんあったので、ひとつに絞って伝えてほしかった。いろいろな人たちの話をちょっとずつ紹介して1時間終わるのはもったいない。それぞれの内容が薄まってしまう。番組の最後に「夏は来ぬ」が流れても、気持ちがついていかず、逆に唐突感があった。ただ、原爆については、いろんなことが風化してきていることを最近特に感じる人が多い。これからも風化させずに伝えてほしい。
- 音の演出がとてもよかった。毎年夏に、この出来事を語り継ぐことは大切なこと。忘れてはいけないこと。ただ、原爆や戦争について放送で毎日聴くのは、個人的にはちょっと厳しいように思う。1年に1度でいいと思う。

- 普遍的なテーマだと感じるのは、核兵器や戦争の脅威や悲惨さの経験を人類全体で共有するということ。もし、単発番組でやるなら悲惨さの共有なのかなと思う。レギュラーでやるなら、戦争と核と人間、という大テーマのもとでいろんな側面を扱っていくのかなと思う。共有するのが難しい問題。共有性をテーマにこの問題を伝えていってほしい。

■ 貴重な意見を今後の番組作りに反映させていきたい。

5. 放送番組審議会の内容について

審議会の意見は、放送番組審議会事務局から各担当部長に伝達した。

6. 公表

議事内容を以下の方法で公表した。

- ① 放 送:番組「JOGLIS SUNDAY」
9月26日(日) 5:00～7:30 放送
- ② 書 面:TOKYO FM サービスセンターに据え置き
- ③ インターネット:TOKYO FM ホームページ内 <http://www.tfm.co.jp>

7. その他

次回審議会10月5日(火)に開催することを決めた。

以 上